

# 電子化写真データの作成要領（案）

平成14年4月

農林水産省農村振興局設計課  
施工企画調整室

# 目 次

1 適用 .....	2
2 属性情報 .....	2
3 フォルダ構成 .....	2
4 写真管理項目 .....	5
5 フォルダ作成の留意事項 .....	6
6 ファイル仕様 .....	6
7 有効画素数 .....	7
付属資料1 電子媒体による写真管理項目の記入方法について .....	9
付属資料2 写真属性情報ファイルの DTD 定義(案) .....	33
付属資料3 写真属性情報ファイルの XML 記入例 .....	35

### (適用)

1. 電子化写真データの作成要領（案）は、写真等（工事・調査・測量・設計等）の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたものである。

### (属性情報)

2. 写真管理・活用に用いる属性情報は基礎情報、および写真情報とする。

基礎情報とは、電子媒体や利用ソフトウェアなどの基礎的な項目を示し、写真情報とは、個々の写真に関する項目を示す。

なお、属性情報の詳細項目、内容、記入方法を付属資料1に示す。

### (フォルダ構成)

3. 写真を納品する場合のフォルダ構成は、設計業務については「設計業務等の電子納品要領（案）」、工事については「工事完成図書の電子納品要領（案）」に従う。

「設計業務等の電子納品要領（案）」のフォルダ構成を図1、「工事完成図書の電子納品要領（案）」のフォルダ構成を図2に示す。

「PHOTO」フォルダの直下に「PIC」と「DRA」のフォルダを置くものとする。

「PIC」とは、撮影した写真ファイルを保管するフォルダを示し、「DRA」とは、参考図ファイルを保管するフォルダを示す。なお、参考図とは、撮影位置、撮影状況等の説明に必要な撮影位置図、平面図、凡例図、構造図等である。

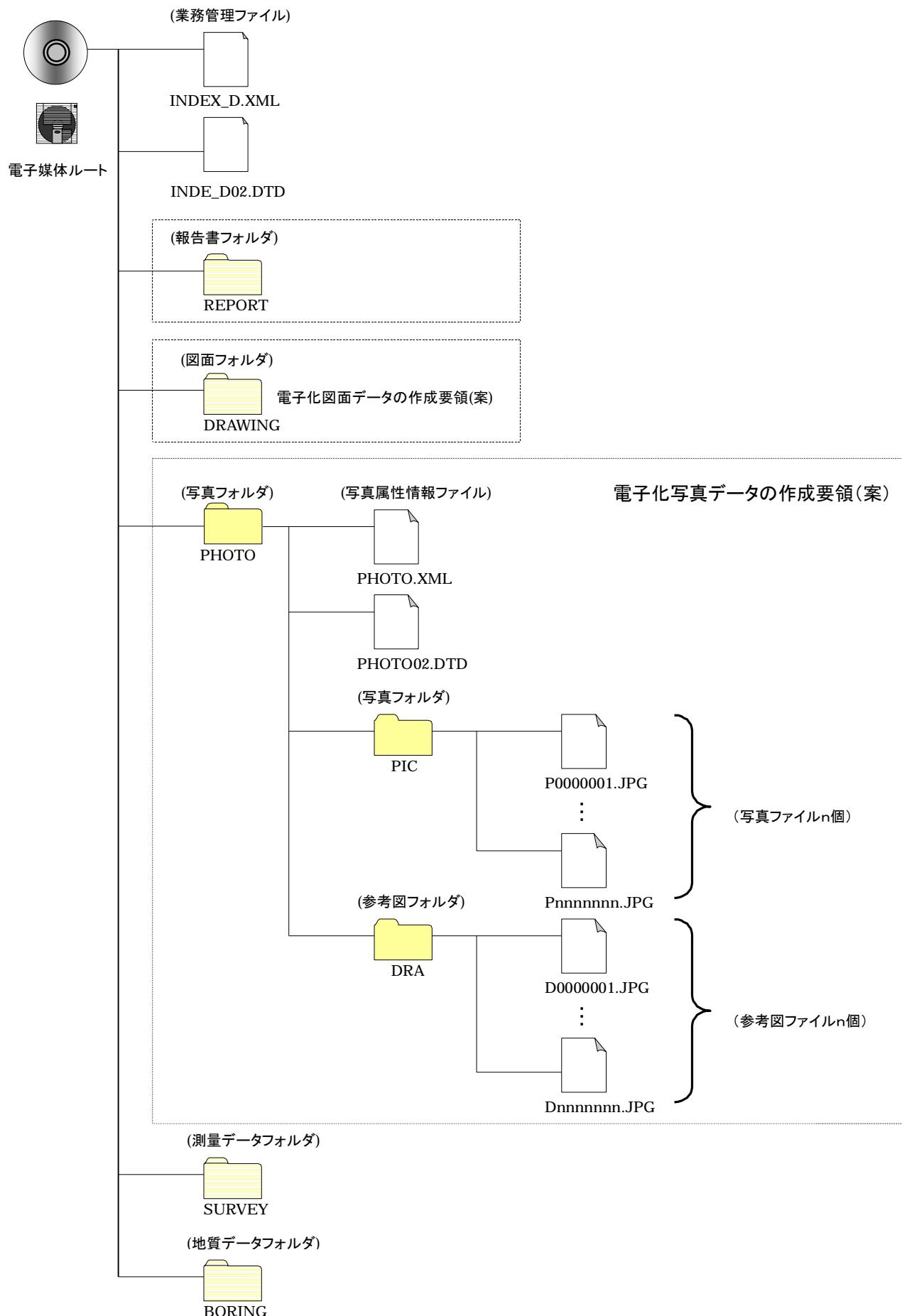


図 1 「設計業務等の電子納品要領(案)」のフォルダ構成図

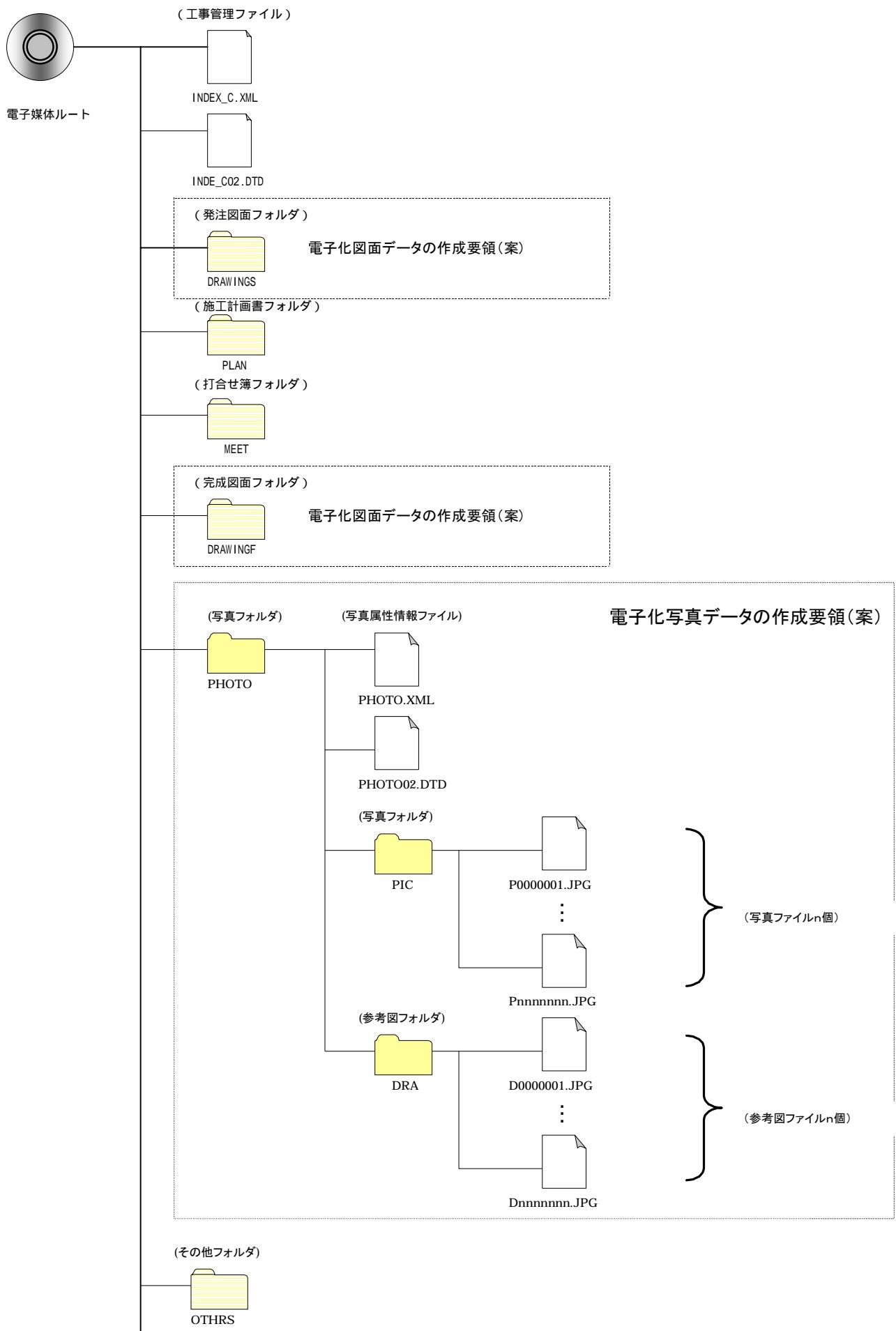


図2 「工事完成図書の電子納品要領(案)」のフォルダ構成図

## (写真管理項目)

4. 電子媒体に格納する写真属性情報ファイル (PHOTO.XML) に記入する写真管理項目 (\* 1) は表 - 1 に示すとおりである。

表 - 1 写真管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
情報基礎	写真フォルダ名	写真を格納するフォルダ名称	半角英数大文字	127	▲	◎
	参考図フォルダ名	参考図を格納するフォルダ名称	同上	127	▲	◎
	媒体情報予備	媒体情報予備項目	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	64	▲	△
情報ソフトウェア	ソフトウェア名	写真管理ソフトウェア名	同上	64	▲	○
	バージョン情報	写真管理ソフトウェアバージョン情報	半角英数字	127	▲	○
	メーカ名	ソフトウェアメーカ名	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	64	▲	○
	メーカ連絡先	メーカ連絡先(住所、電話番号等)	同上	127	▲	○
	ソフトメーカ用 TAG	ソフトウェア情報予備項目	同上	64	▲	△
写真情報	シリアル番号	写真通り番号	半角英数字	7	□	◎
	写真ファイル名	写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する。	半角英数大文字	12	□	◎
	写真ファイル情報予備	写真ファイルに関する予備項目。	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	127	□	△
撮影工種区分	写真:大分類	写真を撮影した業務の種別	全角文字(ただし英数字は含まない)	8	□	◎
	写真区分	写真管理区分:着手前完成・施工状況・材料・安全・品質・出来形等	同上	8	□	◎
	工種	工事工種体系ツリーの「工種」等	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	20	□	○
	種別	工事工種体系ツリーの「種別」等	同上	20	□	○
	細別	工事工種体系ツリーの「細別」等	同上	20	□	○
	写真タイトル	写真の撮影内容、撮影項目	同上	40	□	◎
付加情報	工種区分予備	工種区分に関する予備項目 (複数記入可)	同上	20	□	△
	参考図ファイル名	撮影位置図、凡例図等の参考図面のファイル名 (複数記入可)	半角英数大文字	12	□	○
	参考図タイトル	参考図の内容が判るようなタイトル (複数記入可)	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	40	□	○
	撮影箇所	測点位置、撮影内容、位置図面上の記号等	同上	64	□	○
撮影情報	付加情報予備	参考図等付加情報に関する予備項目	同上	127	□	△
	撮影年月日	写真撮影した日付 CCYY-MM-DD 方式(西暦年月日)で記入する。	半角英数字	10	□	○
	撮影情報予備	日付、フィルム等撮影情報に関する予備項目	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	127	□	△
施工管理値	施工管理値	設計寸法及び実測寸法等	同上	127	□	○
	施工管理値予備	施工条件等施工管理値に関する予備項目	同上	127	□	△
説明状況	状況説明予備	検査立会者、特記事項等状況説明に関する予備項目	同上	127	□	△
その他	請負者説明文	請負者側で写真に付けるコメント	同上	127	□	△
	写真情報予備	その他予備項目 (複数記入可)	同上	127	□	△
Type MIME	写真 MIME	写真ファイルの MIME Type 設定	半角英数字	127	□	◎
	参考図-MIME	参考図ファイルの MIME Type 設定(複数記入可)	同上	127	□	○

【記入者】 : 電子媒体作成者が記入する項目

: 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】 : 必須記入

: 条件付き必須記入

: 任意記入。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

\* 1) 「写真管理項目」は写真データファイル並びに参考図ファイルを検索、参照、再利用するなど活用していくための写真の属性項目である。

## ( フォルダ作成の留意事項 )

5 . フォルダ作成にあたっては以下のように行う。

フォルダ名称は半角英大文字とする。

写真フォルダ(PIC)、及び参考図フォルダ(DRA)直下に直接対象ファイルを保存し、階層分けは行わない。

## ( ファイル仕様 )

6 . 写真ファイル、参考図ファイル、写真属性ファイルの仕様は以下のものとする。

### (1) 写真ファイルの仕様

記録形式は JPEG とし、非圧縮～圧縮率 1/8 までとする。

写真ファイルについては、以下の命名規則に従うものとする。

ファイル名称は、半角 8 文字以内 ( ISO9660 レベル 1 に準拠 ) とする。

ファイル名の文字数は、半角 ( 1 バイト文字 ) で 8 文字以内、拡張子 3 文字の 8.3 形式とする。

ファイル名は、英数文字で記述することを原則とする。ファイル名に使用する文字は半角 ( 1 バイト文字 ) で、大文字のアルファベット「 P 」、数字「 0 ~ 9 」、アンダースコア「 \_ 」のみとすることを基本とする。

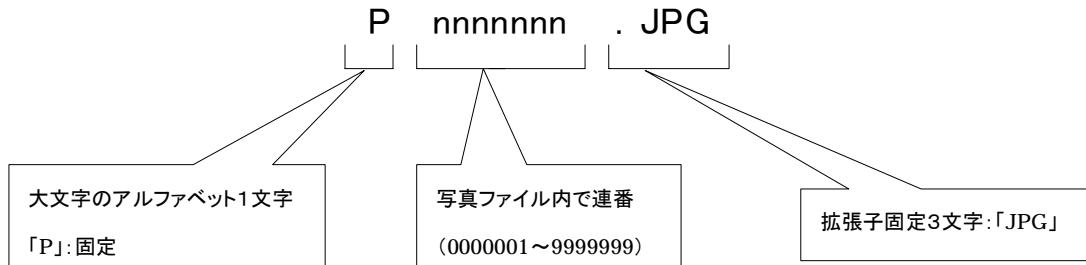


図 3 写真ファイル命名規則

## (2) 参考図ファイルの仕様

記録形式は JPEG とし、非圧縮～圧縮率 1/8 までとする。

参考図ファイルについては、以下の命名規則に従うものとする。

ファイル名称は、半角 8 文字以内 ( ISO9660 レベル 1 に準拠 ) とする。

ファイル名の文字数は、半角 ( 1 バイト文字 ) で 8 文字以内、拡張子 3 文字の 8.3 形式とする。

ファイル名は、英数文字で記述することを原則とする。ファイル名に使用する文字は半角 ( 1 バイト文字 ) で、大文字のアルファベット「 D 」、数字「 0 ～ 9 」、アンダースコア「 \_ 」のみとすることを基本とする。

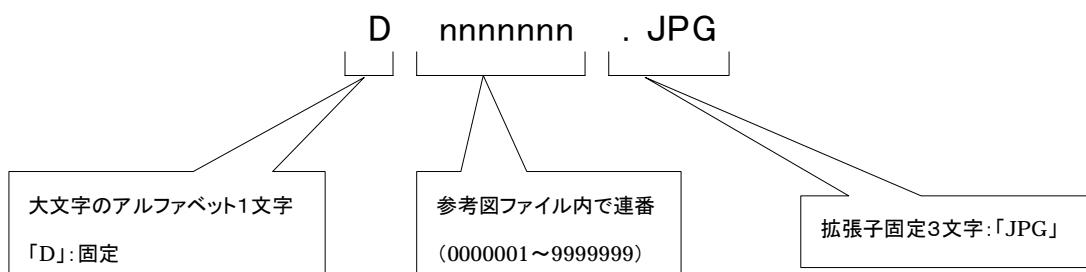


図 4 参考図ファイル命名規則

## (3) 写真属性ファイル

写真属性ファイルとは、2 の属性情報を記録するファイルであり、「PHOTO」フォルダの直下に保存するものとする。

保存形式は XML(\*1) 文書 ( XML バージョン 1.00 に準拠 ) とし、ファイル名称を半角英大文字で「 PHOTO.XML 」とする。

本 XML 文書で用いる DTD(\*2) を付属資料 2 に示す。

## (4) 使用文字

XML 文書に使用する文字については、「設計業務等の電子納品要領 ( 案 ) 」、「工事完成図書の電子納品要領 ( 案 ) 」に従うものとする。

## (5) 写真編集等

写真の信憑性を考慮し、原則として写真編集は認めない。

ただし、監督職員の承諾を得た場合は、回転、パノラマ、全体の明るさの補正程度は認めることとする。

## ( 有効画素数 )

7. 電子媒体による写真については、有効画素数 80 万画素以上とする。

## [ 用語 ]

( \*1 ) XML eXtensible Markup Language ( 拡張型構造化記述言語 )

文字列をタグと呼ばれる< >で括った予約語で囲み、文書の整形や他文書へのリンクを記述する。文書の構造を DTD というファイルに定義することで、表現方法の指定や文書中の文字列に意味を付加する独自のタグを拡張定義できることに特徴がある。

( \*2 ) DTD Document Type Definitions ( 文書型定義 )

XML 文書を構成する要素が現れる場所、順序、出現回数などの文書構造を定義する仕組みである。

## 付属資料1

### 電子媒体による写真管理項目の記入方法について

#### 1. 項目一覧

##### 1. 1 基礎情報

	カテゴリー	項目名	概要	データ表現	文字数	記入者	必要度
1	基礎情報	写真フォルダ名	写真を格納するフォルダ名称	半角英数大文字	127		
2		参考図フォルダ名	参考図を格納するフォルダ名称	同上	127		
3		媒体情報予備	媒体情報予備項目	全角文字（ただし英数字は半角のみ）	64		
4	ソフトウェア情報	ソフトウェア名	写真管理ソフトウェア名	同上	64		
5		バージョン情報	写真管理ソフトウェアバージョン情報	半角英数字	127		
6		メーカー名	ソフトウェアメーカー名	全角文字（ただし英数字は半角のみ）	64		
7		メーカー連絡先	メーカー連絡先(住所、電話番号等)	同上	127		
8		ソフトメーカー用 TAG	ソフトウェア情報予備項目	同上	64		

【記入者】  : 電子媒体作成者が記入する項目

▲ : 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】 ◎ : 必須記入

○ : 条件付き必須記入

△ : 任意記入。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

## 1.2 写真情報

	カテゴリー	項目名	概要	データ表現	文字数	記入者	必要度
1	写真ファイル情報	シリアル番号	写真通し番号	半角英数字	7	□	○
2		写真ファイル名	写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する	半角英数大文字	12		○
3		写真ファイル情報予備	写真ファイルに関する予備項目	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	127		△
4	撮影工種区分	写真:大分類	写真を撮影した業務の種別	全角文字(ただし英数字は含まない)	8	□	○
5		写真区分	写真管理区分:着手前完成・施工状況・材料・安全・品質・出来形等	同上	16		○
6		工種	工事工種体系ツリーの「工種」等	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	20		○
7		種別	工事工種体系ツリーの「種別」等	同上	20		○
8		細別	工事工種体系ツリーの「細別」等	同上	20		○
9		写真タイトル	写真の撮影内容、撮影項目	同上	40		○
10		工種区分予備	工種区分に関する予備項目 (複数記入可)	同上	20		△
11	付加情報	参考図ファイル名	撮影位置図、凡例図等の参考図面のファイル名 (複数記入可)	半角英数大文字	12	□	○
12		参考図タイトル	参考図の内容が判るようなタイトル (複数記入可)	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	40		○
13		撮影箇所	測点位置、撮影内容、位置図面上の記号等	同上	64		○
14		付加情報予備	参考図等付加情報に関する予備項目	同上	127		△
15	撮影情報	撮影年月日	写真を撮影した日付 CCYY-MM-DD 方式(西暦年月日)で記入する。	半角英数字	10	□	○
16		撮影情報予備	日付、フィルム等撮影情報に関する予備項目	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	127		△

17	施工管理値	施工管理値	設計寸法及び実測寸法等	同上	127	□	○
18		施工管理値予備	施工条件等施工管理値に関する予備項目	同上	127		△
19	状況説明	状況説明予備	検査立会者、特記事項等状況説明に関する予備項目	同上	127	□	△
20	その他	請負者説明文	請負者側で写真につけるコメント	同上	127	□	△
21		写真情報予備	その他予備項目 (複数記入可)	同上	127		△
22	MIME Type	写真 MIME	写真ファイルの MIME Type 設定	半角英数字	127	□	◎
23		参考図 MIME	参考図ファイルの MIME Type 設定 (複数記入可)	同上	127		○

【記入者】 □:電子媒体作成者が記入する項目

▲:電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】 ◎:必須記入

○:条件付き必須記入

△:任意記入。原則として空欄。特記すべき事項があれば記入する。

## 2. 記入要領

### 2.1 記入方法

写真管理に用いる属性項目について、下記の書式で各項目の記入方法を示す。

項目名	(1)		
データ表現	(2)	文字数	(3)
概要	(4)		
記入必要度	(5)		
記入が必要な場合	(6)		
記入例	(7)		
XML 表記例	(8)		
備考	(9)		
記入規則	(10)		

#### (1) 項目名

管理項目の名称

#### (2) データ表現

各項目に記入する文字種はこの制限に従う。

記入可能なデータの形式。

##### 1) 半角英数字

半角英数字のみ記入可（年・日付等）

##### 2) 半角英数大文字

半角英数大文字のみ記入可（フォルダ名等）

##### 3) 半角英数文字

半角英数字のみ記入可（バージョン番号）

##### 4) 全角文字（ただし、英数字は含まない）

全角文字記号のみ記入可（写真区分等）

##### 5) 全角文字（ただし、英数字は半角大文字のみ）

全角文字記号、半角英数大文字のみ記入可（ファイル名等）

##### 6) 全角文字（ただし、英数字は半角のみ）

全角文字記号、半角英数字を記入可（特に制限のないもの）

#### (3) 文字数

記入可能な最大文字数を示す。

全角文字のみ記入する項目については、(10) 記入規則に明示する。

また、常にこの文字数で記入する必要がある項目については、(10) 記入規則に明示する。

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を明示しており、半角英数字は2文字で全角文字1文字に相当する。

#### (4) 概要

記入すべき内容を示す。

## ( 5 ) 記入必要度

記入の必要度を 3 段階に分類し、各々の記入目安を下記の通りとする。

### 1 ) 必須記入項目

必ず記入すべき項目。

特に理由のない限り、必ず記入する。

### 2 ) 条件付き必須項目

原則として、記入すべき内容が明確である場合は必ず記入する。

場合によっては、記入すべき事項が明確でない場合があるので、その場合は空欄のまま提出する。

なお、空欄の項目については、PHOTO.XML ファイルに出力する必要はない。

### 3 ) 任意記入項目

原則として、記入の必要はなく空欄のまま提出する。

特記すべき事項があった場合のみ記入する。

なお、空欄の項目については、PHOTO.XML ファイルに出力する必要はない。

## ( 6 ) 記入が必要な場合

条件付き必須記入項目、任意記入項目について、記入を行う条件を示す。

## ( 7 ) 記入例

各項目について記入例を示す。

## ( 8 ) X M L 表記例

記入例で示した項目について、PHOTO.XML ファイルでの表記例を示す。

## ( 9 ) 備考

記入内容など、各項目に関する補足を示す。

## ( 10 ) 記入規則

記入できる文字に関する制限や記入すべき文字数に関する制限など、記入規則に関わる制限事項を示す。

## 2. 2 基礎情報

### (1) 写真フォルダ名

項目名	写真フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概要	写真ファイルを保存するフォルダ名を PHOTO.XML のフォルダに対する相対パスで記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する 写真フォルダ名: <input type="text" value="./PIC"/>		
XML 表記例	<写真フォルダ名>./PIC</写真フォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 XML 規格に準拠し、フォルダは"/"(スラッシュ)で記述する。		

### (2) 参考図フォルダ名

項目名	参考図フォルダ名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	127
概要	写真ファイルを保存するフォルダ名を PHOTO.XML のフォルダに対する相対パスで記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	次の通り記入する。 参考図フォルダ名: <input type="text" value="./DRA"/>		
XML 表記例	<参考図フォルダ名>./DRA</参考図フォルダ名>		
備考	なし		
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 XML 規格に準拠し、フォルダは"/"(スラッシュ)で記述する。		

### (3) 媒体情報予備

項目名	媒体情報予備		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	64
概要	媒体情報に関する予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項があれば記入する。		
記入例	— 省略 —		
XML 表記例	— 省略 —		
備考	なし		
記入規則	なし		

## 2. 3 ソフトウェア情報

### (1) ソフトウェア名

項目名	ソフトウェア名		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	64
概要	写真属性情報ファイルを作成した写真管理ソフトウェア名。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	PHOTO.XML の作成及び修正に写真管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	写真管理ソフトウェア名が“〇〇写真管理ソフト Ver.2.01A”で あった場合。 ソフトウェア名: <b>〇〇写真管理ソフト</b>		
XML 表記例	<ソフトウェア名>〇〇写真管理ソフト</ソフトウェア名>		
備考	なし		
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 PHOTO.XML ファイルを他の写真管理ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

### (2) バージョン情報

項目名	バージョン情報		
データ表現	半角英数字	文字数	127
概要	写真管理ソフトウェアのバージョン情報。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	PHOTO.XML 作成及び修正に写真管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	写真管理ソフトウェア名が“〇〇写真管理ソフト Ver.2.01A”で あった場合。 バージョン情報: <b>Ver.2.01A</b>		
XML 表記例	<バージョン情報>Ver.2.01A</バージョン情報>		
備考	なし		
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 PHOTO.XML ファイルを他の写真管理ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(3) メーカ名

項目名	メーカー名		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	64
概要	写真属性情報ファイルを作成した写真管理ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカー名。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	PHOTO.XML の作成及び修正に写真管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカー名が“〇〇システム株式会社”であった場合。 メーカー名: 〇〇システム株式会社		
XML 表記例	<メーカー名>〇〇システム株式会社</メーカー名>		
備考	なし		
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 PHOTO.XML ファイルを他の写真管理ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

(4) メーカ連絡先

項目名	メーカー連絡先		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	127
概要	写真属性情報ファイルを作成した写真管理ソフトウェアを開発したソフトウェアメーカーの住所、電話番号等連絡先情報を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	PHOTO.XML の作成及び修正に写真管理ソフトウェアを使用した場合は必須記入。		
記入例	メーカー連絡先が“東京都千代田区一番町 1-1-1 TEL:03-1234-5678 FAX:03-8765-4321”であった場合。 東京都千代田区一番町 1-1-1 TEL:03-1234-5678 FAX:03-8765-4321		
XML 表記例	<メーカー連絡先>東京都千代田区一番町 1-1-1 TEL:03-1234-5678 FAX:03-8765-4321</メーカー連絡先>		
備考	なし		
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 PHOTO.XML ファイルを他の写真管理ソフトウェアで修正した場合は、上書きして書き換える。		

## (5) ソフトメーカー用 TAG

項目名	ソフトメーカー用 TAG		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	64
概要	ソフトウェアメーカー使用欄。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。		
記入例	— 省略 —		
XML 表記例	— 省略 —		
備考	なし		
記入規則	同一ファイル中に複数の記入が可能とする。 PHOTO.XML を他の写真管理ソフトで修正した場合は、必要 に応じて、上書きまたは削除する。		

## 2. 4 写真情報

### (1) シリアル番号

項目名	シリアル番号		
データ表現	半角英数字	文字数	7
概要	電子写真の通し番号。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	写真ファイル”P0000123.jpg”が 123 枚目の写真のとき シリアル番号: 123		
XML 表記例	<シリアル番号>123</シリアル番号>		
備考	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。		
記入規則	シリアル番号は 1 より開始する。 提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真について ユニークであれば、中抜けしても良い。 123 枚目を、”000123”の様に 0 を付けて表現してはいけない。		

### (2) 写真ファイル名

項目名	写真ファイル名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	12
概要	写真ファイル名称と拡張子も含めて記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	写真ファイル名を”P0000001.JPG”とした場合 写真ファイル名: P0000001.JPG		
XML 表記例	<写真ファイル名>P0000001.JPG</写真ファイル名>		
備考	なし		
記入規則	必ず半角英数大文字で記入する。		

(3) 写真ファイル情報予備

項目名	写真ファイル情報予備		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	127
概要	写真ファイルに関する予備項目		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	— 省略 —		
XML 表記例	— 省略 —		
備考	なし		
記入規則	なし		

(4) 写真:大分類

項目名	写真:大分類		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は含まない)	文字数	8
概要	工事・調査・測量・設計・その他を撮影した写真の大分類。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	工事写真の場合  写真-大分類: <b>工事</b>		
XML 表記例	<写真-大分類>工事</写真-大分類>		
備考	なし		
記入規則	写真の大分類を工事・調査・測量・設計・その他とする。 例えば工事写真は常に「工事」とのみ記入することとし「水路工事」といった表記は不可。		

(5) 写真区分

項目名	写真区分		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は含まない)	文字数	16
概要	着手前及び完成写真(既済部分写真等を含む)・施工状況写真・安全管理写真・使用材料写真・品質管理写真・出来形管理写真・災害写真・その他(公害、環境、補償等)に分類し、記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	<p>着手前及び完成写真の場合</p> <p>写真区分: <b>着手前及び完成写真</b></p> <p>管水路工事の出来形管理写真の場合</p> <p>写真区分: <b>出来形管理写真</b></p>		
XML 表記例	<p>着手前及び完成写真の場合</p> <p>&lt;写真区分&gt;着手前及び完成写真&lt;/写真区分&gt;</p> <p>管水路工事の出来形管理写真の場合</p> <p>&lt;写真区分&gt;出来形管理写真&lt;/写真区分&gt;</p>		
備考	なし		
記入規則	<p>大分類が「工事」の場合「着手前及び完成写真・施工状況写真・安全管理写真・使用材料写真・品質管理写真・出来形管理写真・災害写真・その他」の区分のいずれかを全角文字で正しく記入する。</p> <p>大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。</p>		

(6) 工種

項目名	工種																				
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	20																		
概要	工事の場合、工事工種体系ツリーの「工種」を記入する。																				
記入必要度	条件付き必須記入																				
記入が必要な場合	<p>工種以下の分類が明確で記入可能であれば記入する。          写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。          写真分類ごとの目安は下記の通り。</p> <table> <thead> <tr> <th>(写真分類)</th> <th>(工種)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・着手前及び完成写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・施工状況写真</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>・安全管理写真</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>・使用材料写真</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>・品質管理写真</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・出来形管理写真</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・災害写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>○:記入を必要とする。          △:記入可能な場合、記入を必要とする。          ×:記入不能であるため、記入は不要。空欄とする。</p>			(写真分類)	(工種)	・着手前及び完成写真	×	・施工状況写真	△	・安全管理写真	△	・使用材料写真	△	・品質管理写真	○	・出来形管理写真	○	・災害写真	×	・その他	×
(写真分類)	(工種)																				
・着手前及び完成写真	×																				
・施工状況写真	△																				
・安全管理写真	△																				
・使用材料写真	△																				
・品質管理写真	○																				
・出来形管理写真	○																				
・災害写真	×																				
・その他	×																				
記入例	<p>着手前及び完成写真の場合          工種: <input type="text"/></p> <p>管水路工事の出来形管理写真の場合          工種: <input type="text"/> 管路土工</p>																				
XML 表記例	<p>着手前及び完成写真の場合          ※記入しない</p> <p>管水路工事の出来形管理写真の場合          &lt;工種&gt;管路土工&lt;/工種&gt;</p>																				
備考	なし																				
記入規則	工事の場合には、工事工種体系ツリーの「工種」を記入する。 但し、工事工種体系ツリーにない工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。																				

(7) 種別

項目名	種別																		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ) 文字数 20																		
概 要	工事の場合、工事工種体系ツリーの「種別」を記入する。																		
記入必要度	条件付き必須記入																		
記入が必要な場合	<p>工種以下の分類が明確で記入可能であれば記入する。 写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。 写真分類ごとの目安は下記の通り。</p> <table> <thead> <tr> <th>(写真分類)</th> <th>(種別)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・着手前及び完成写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・施工状況写真</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>・安全管理写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・使用材料写真</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>・品質管理写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・出来形管理写真</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・災害写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>○:記入を必要とする。 △:記入可能な場合、記入を必要とする。 ×:記入不能であるため、記入は不要。空欄とする。</p>	(写真分類)	(種別)	・着手前及び完成写真	×	・施工状況写真	△	・安全管理写真	×	・使用材料写真	△	・品質管理写真	×	・出来形管理写真	○	・災害写真	×	・その他	×
(写真分類)	(種別)																		
・着手前及び完成写真	×																		
・施工状況写真	△																		
・安全管理写真	×																		
・使用材料写真	△																		
・品質管理写真	×																		
・出来形管理写真	○																		
・災害写真	×																		
・その他	×																		
記入例	<p>着手前及び完成写真の場合 種別: <input type="text"/></p> <p>管水路工事の出来形管理写真の場合 種別: <input type="text"/>掘削工</p>																		
XML 表記例	<p>着手前及び完成写真の場合 ※記入しない</p> <p>管水路工事の出来形管理写真の場合 &lt;種別&gt;掘削工&lt;/種別&gt;</p>																		
備考	なし																		
記入規則	工事の場合には、工事工種体系ツリーの「種別」を記入する。 但し、工事工種体系ツリーにない工事の場合には対応するレ ベルのものを正しく記入する。																		

(8) 細別

項目名	細別																				
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	20																		
概要	工事の場合、工事工種体系ツリーの「細別」を記入する。																				
記入必要度	条件付き必須記入																				
記入が必要な場合	<p>工種以下の分類が明確で記入可能であれば記入する。          写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。          写真分類ごとの目安は下記の通り。</p> <table> <thead> <tr> <th>(写真分類)</th> <th>(細別)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・着手前及び完成写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・施工状況写真</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>・安全管理写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・使用材料写真</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>・品質管理写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・出来形管理写真</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・災害写真</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>○:記入を必要とする。          △:記入可能な場合、記入を必要とする。          ×:記入不能であるため、記入は不要。空欄とする。</p>			(写真分類)	(細別)	・着手前及び完成写真	×	・施工状況写真	△	・安全管理写真	×	・使用材料写真	△	・品質管理写真	×	・出来形管理写真	○	・災害写真	×	・その他	×
(写真分類)	(細別)																				
・着手前及び完成写真	×																				
・施工状況写真	△																				
・安全管理写真	×																				
・使用材料写真	△																				
・品質管理写真	×																				
・出来形管理写真	○																				
・災害写真	×																				
・その他	×																				
記入例	<p>着手前及び完成写真の場合          細別: <input type="text"/></p> <p>管水路工事の出来形管理写真の場合          細別: <input type="text" value="土砂掘削"/></p>																				
XML 表記例	<p>着手前及び完成写真の場合          ※記入しない</p> <p>管水路工事の出来形管理写真の場合          &lt;細別&gt;土砂掘削&lt;/細別&gt;</p>																				
備考	なし																				
記入規則	工事の場合には、工事工種体系ツリーの「細別」を記入する。 但し、工事工種体系ツリーにない工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。																				

(9) 写真タイトル

項目名	写真タイトル		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	40
概要	写真の撮影内容がわかるように、土木工事施工管理基準第3項の撮影項目、及び撮影時期に相当する内容を記入する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	<p>着手前及び完成写真の場合で、〇〇工区の着手前の場合</p> <p>写真タイトル: <b>〇〇工区:着手前</b></p> <p>管水路工事の出来形管理写真の場合</p> <p>写真タイトル: <b>掘削出来形測定</b></p>		
XML 表記例	<p>着手前及び完成写真の場合で、〇〇工区の着手前の場合 &lt;写真タイトル&gt;〇〇工区:着手前&lt;/写真タイトル&gt;</p> <p>管水路工事の出来形管理写真の場合 &lt;写真タイトル&gt;掘削出来形測定&lt;/写真タイトル&gt;</p>		
備考	なし		
記入規則	なし		

(10) 工種区分予備

項目名	工種区分予備		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	20
概要	工事工種体系ツリーの区分変更に対応するための予備項目である。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	工事工種体系ツリーの区分変更に対応するための予備項目である。		
記入例	— 省略 —		
XML 表記例	— 省略 —		
備考	工事工種体系ツリーの区分変更に対応するための予備項目である。		
記入規則	複数記入可。		

(11) 参考図ファイル名

項目名	参考図ファイル名		
データ表現	半角英数大文字	文字数	12
概要	写真の撮影位置を示す位置図面等のファイル名を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	小黒板に記した図の判読が困難となる場合、または当該写真に関し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。		
記入例	<p>写真に位置平面図、構造図、作業フロー図が添付されていた場合。</p> <p>参考図ファイル名: D0000001.JPG</p> <p>参考図ファイル名: D0000002.JPG</p> <p>参考図ファイル名: D0000003.JPG</p>		
XML 表記例	<参考図ファイル名>D0000001.JPG</参考図ファイル名>		
備考	参考図ファイルは JPEG 形式で、必要な情報が判読できるものとする。		
記入規則	必ず半角英数大文字で記入する。複数記入可。		

(12) 参考図タイトル

項目名	参考図タイトル		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	40
概要	参考図の内容が判るようなタイトル		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	小黒板に記した図の判読が困難となる場合、または当該写真に 関し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面 または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入 する。		
記入例	<p>写真に参考図(位置平面図、構造図、作業フロー図)が添付さ れていた場合。参考図ファイル副題が“位置平面図”、“構造 図”、“作業フロー図”であった場合。</p> <p>参考図のタイトル: 位置平面図</p> <p>参考図のタイトル: 構造図</p> <p>参考図のタイトル: 作業フロー図</p>		
XML 表記例	<参考図タイトル>位置平面図</参考図タイトル> <参考図タイトル>構造図</参考図タイトル> <参考図タイトル>作業フロー図</参考図タイトル>		
備考	なし		
記入規則	複数記入可。		

(13) 撮影箇所

項目名	撮影箇所		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	64
概要	当該写真に関する測点位置、撮影対象までの距離、撮影内容等を簡潔に記入する。撮影位置図上に複数撮影位置が記載されている場合には、位置図上の記号等を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	小黒板に記した図等の判読が困難など施工状況確認に必要な場合記入する。		
記入例	管水路工事の着手前及び完成写真の場合  撮影箇所: <b>起点より終点方向</b>  管水路工事の管水路基礎出来形管理写真の場合  撮影箇所: <b>測点: NO1</b>		
XML 表記例	管水路工事の着手前及び完成写真の場合 <撮影箇所>起点より終点方向</撮影箇所> 管水路工事の管水路基礎出来形管理写真の場合 <撮影箇所>測点: NO1</撮影箇所>		
備考	なし		
記入規則	なし		

#### (14) 付加情報予備

項目名	付加情報予備		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	127
概要	参考図、撮影箇所等の付加情報に関する予備項目		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	— 省略 —		
XML 表記例	— 省略 —		
備考	なし		
記入規則	なし		

(15) 撮影年月日

項目名	撮影年月日		
データ表現	半角英数字	文字数	10
概要	写真を撮影した日付。 CCYY-MM-DD 方式(西暦年月日)で記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	品質検査等、工程上、撮影日が確定している場合に記入する。		
記入例	検査実施日が平成 13 年 2 月 3 日までの場合 撮影年月日: 2001-02-03		
XML 表記例	<撮影年月日>2001-02-03</撮影年月日>		
備考	なし		
記入規則	月または日が 1 衔の数の場合”0”を付加して、必ず 10 衔で記入する。空欄不可。 例) 平成 13 年 1 月 1 日 → “2001-01-01”		

(16) 撮影情報予備

項目名	撮影情報予備		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	127
概要	撮影日等撮影情報に関する予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	— 省略 —		
XML 表記例	— 省略 —		
備考	なし		
記入規則	なし		

(17) 施工管理値

項目名	施工管理値		
データ表現	全角文字(ただし数字は半角のみ)	文字数	127
概要	設計寸法及び実測寸法等を記入する。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	小黒板の判読が困難な場合記入する。		
記入例	小黒板に書かれた管水路基礎の設計寸法が1,500mmで、実測寸法が1,520mmの場合  施工管理値: 管水路基礎: 設計寸法 1,500mm・実測寸法 1,520mm		
XML表記例	小黒板に書かれた管水路基礎の設計寸法が1,500mmで、実測寸法が1,520mmの場合 <施工管理値>管水路基礎: 設計寸法 1,500mm・実測寸法 1,520mm</施工管理値>		
備考	なし		
記入規則	なし		

(18) 施工管理値予備

項目名	施工管理値予備		
データ表現	全角文字(ただし英数字は半角のみ)	文字数	127
概要	設計値、実測値等、施工管理値に関する予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	黒板情報を補足する必要がある場合記入する。		
記入例	— 省略 —		
XML表記例	— 省略 —		
備考	なし		
記入規則	なし		

(19) 状況説明予備

項目名	状況説明予備		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	127
概要	検査立会者、特記事項等、状況説明に関する予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	— 省略 —		
XML 表記例	— 省略 —		
備考	なし		
記入規則	なし		

(20) 請負者説明文

項目名	請負者説明文		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	127
概要	その他、写真に関して請負者側で説明を記入するための項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	請負者側で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	— 省略 —		
XML 表記例	— 省略 —		
備考	なし		
記入規則	なし		

(21) 写真情報予備

項目名	写真情報予備		
データ表現	全角文字(ただし英 数字は半角のみ)	文字数	127
概要	その他予備項目。		
記入必要度	任意記入		
記入が必要な場合	説明文以外で特記すべき事項がある場合記入する。		
記入例	— 省略 —		
XML 表記例	— 省略 —		
備考	なし		
記入規則	複数記入可		

(22) 写真 MIME

項目名	写真 MIME		
データ表現	半角英数字	文字数	127
内 容	写真ファイルの MIME 型を定義する。		
記入必要度	必須記入		
記入が必要な場合	必須記入		
記入例	写真ファイルは JPEG 形式であるので 写真 MIME: <code>image/jpeg</code>		
XML 表記例	<写真 MIME>image/jpeg</写真 MIME>		
備考	なし		
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。		

(23) 参考図 MIME

項目名	参考図 MIME		
データ表現	半角英数字	文字数	127
内 容	参考図ファイルの MIME 型を定義する。		
記入必要度	条件付き必須記入		
記入が必要な場合	参考図を添付した場合記入する。		
記入例	参考図ファイルは JPEG 形式であるので 参考図 MIME: <code>image/jpeg</code>		
XML 表記例	<参考図 MIME>image/jpeg</参考図 MIME>		
備考	なし		
記入規則	写真管理ソフトウェアが自動的に記入することが望ましい。 複数記入可。		

## 付属資料2

### 写真属性情報ファイルの DTD 定義(案)

#### 1.はじめに

写真を交換するための写真属性情報ファイル PHOTO.XML の DTD 定義(PHOTO02.DTD)を示す。また、写真属性情報の XML 記入例を参考に示す。

#### 2.写真管理 DTD

```
<?xml version="1.0" encoding="shift_jis"?>
<!ELEMENT photodata (
    基礎情報?,
    ソフトウェア情報?,
    写真情報*)>

<!ATTLIST Photodata DTD_version CDATA#FIXED"02">

<!-- **** -->
<!--          基礎情報          -->
<!-- **** -->

<!ELEMENT 基礎情報 (写真フォルダ名?, 参考図フォルダ名?, 媒体情報予備?)>

<!ELEMENT 写真フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 参考図フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 媒体情報予備 (#PCDATA)>

<!-- **** -->
<!--          ソフトウェア情報          -->
<!-- **** -->

<!ELEMENT ソフトウェア情報(ソフトウェア名?, バージョン情報?,
    メーカ名?, メーカ連絡先?, ソフトメーカ用 TAG?)>

<!ELEMENT ソフトウェア名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT バージョン情報 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT メーカ連絡先 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ソフトメーカ用 TAG (#PCDATA)>

<!-- **** -->
<!--          写真情報          -->
<!-- **** -->

<!ELEMENT 写真情報 (
    シリアル番号?, 写真ファイル名?, 写真ファイル情報予備?,
    写真-大分類?, 写真区分?, 工種?, 種別?, 細別?, 写真タイトル?, 工種区分予備?,
    参考図ファイル名?, 参考図タイトル?, 撮影箇所?, 付加情報予備?,
    撮影年月日?, 撮影情報予備?, 施工管理値?, 施工管理値予備?, 状況説明予備?,
    請負者説明文?, 写真情報予備?,
    写真 MIME?, 参考図 MIME?
    )>
```

```
<!ELEMENT シリアル番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 写真ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 写真ファイル情報予備 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 写真-大分類 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 写真区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工種 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 種別 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 細別 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 写真タイトル (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工種区分予備 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 参考図ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 参考図タイトル (#PCDATA)>
<!ELEMENT 撮影箇所 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 付加情報予備 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 撮影年月日 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 撮影情報予備 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工管理値 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 施工管理値予備 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 状況説明予備 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 写真情報予備 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 写真 MIME (#PCDATA)>
<!ELEMENT 参考図 MIME (#PCDATA)>
```

## 付属資料 3

### 写真属性情報ファイル XML 記入例

#### 1. はじめに

写真を交換するための写真属性情報の XML 記入例を示す。

#### 2. XML 記入例

```
<?xml version="1.0" encoding="shift_jis"?>
<!DOCTYPE photodata SYSTEM "PHOTO02.DTD">
<photodata DTD_version="02">
  <基礎情報>
    <写真フォルダ名>./PIC</写真フォルダ名>
    <参考図フォルダ名>./DRA</参考図フォルダ名>
    <媒体情報予備></媒体情報予備>
  </基礎情報>
  <ソフトウェア情報>
    <ソフトウェア名>○○写真管理ソフト</ソフトウェア名>
    <バージョン情報>Ver.2.01A</バージョン情報>
    <メーカ名>○○システム株式会社</メーカ名>
    <メーカ連絡先>東京都千代田区一番町1-1-1 TEL:03-1234-5678 FAX:03-8765-4321
    </メーカ連絡先>
  </ソフトウェア情報>
  <写真情報>
    <シリアル番号>123</シリアル番号>
    <写真ファイル名>P0000001.JPG</写真ファイル名>
    <写真-大分類>工事</写真-大分類>
    <写真区分>出来形管理写真</写真区分>
    <工種>管路土工</工種>
    <種別>掘削工</種別>
    <細別>土砂掘削</細別>
    <写真タイトル>掘削出来形測定写真タイトル</写真タイトル>
    <参考図ファイル名>D0000001.JPG</参考図ファイル名>
    <参考図ファイル名>D0000002.JPG</参考図ファイル名>
    <参考図ファイル名>D0000003.JPG</参考図ファイル名>
    <参考図タイトル>位置平面図.JPG</参考図タイトル>
    <参考図タイトル>構造図.JPG</参考図タイトル>
    <参考図タイトル>作業フロー図.JPG</参考図タイトル>
    <撮影箇所>測点:NO1</撮影箇所>
    <撮影年月日>2001-02-03</撮影年月日>
    <施工管理値>管水路基礎:設計寸法 1,500mm・実測寸法 1,520mm</施工管理値>
    <写真 MIME>image/jpeg</写真 MIME>
    <参考図 MIME>image/jpeg</参考図 MIME>
  </写真情報>
</photodata>
```

上記 XML 記入例中の文字装飾は以下の記入区分を示す。

□で囲んだ項目は、ユーザが記入する項目。

下線を引いた項目は、ソフトウェアベンダーが記入する項目。

□も下線もない項目は、記入すべき内容が固定されている項目。

